



名古屋城

◆名古屋城の本丸御殿
愛知県名古屋市に、日本百名城に選定されている名古屋城があります。築城は一六一〇年から行われ、天守閣の屋根の上にある金鯱(金のしゃちほこ)でも有名で、国の特別史跡に指定されています。この名古屋城本丸の天守閣南側には、かつて本丸御殿(一六一五年完成)があり、近世城郭御殿の最高傑作と言われ、京都二条城の二の丸御殿と並ぶ武家風書院造の双壁となっていました。
勇壮な天守閣と優美な御殿が並び建つ

名古屋城本丸御殿の復元

12

愛知森林管理事務所



天守閣

ことで、昭和五年に国宝に指定されましたが、第二次世界大戦末期の昭和二十年五月の空襲で双方とも焼失しました。その後、天守閣は昭和三十四年に再建され、本丸御殿も復元が望まれてきました。

◆本丸御殿の復元

平成二十一年一月、名古屋開府四〇〇年プロジェクトの一環として復元が始まりました。本丸御殿の歴史的・文化的価値を有するとともに、広く市民が活用できる財産となるように、工期を三期十年で総事業費一五〇億円をかけて工事が行われています。

復元の手法としては、焼失前と同等の歴史的・文化的価値を有する建物を再現するよう、原則として旧来の材料・工法により行われており、木曽地方などで育った天然ヒノキが多く使われています。

- 構造階数 木造平屋建(書院造)
- 延べ面積 約三、一〇〇平方メートル
- 建築面積 約三、六〇〇平方メートル
- 主な部屋 玄関(謁見者の控えの間)
- 表書院(外客応接の間)
- 対面所(内臣対面の場)
- 上洛殿(将軍上洛時の宿舎)

◆見どころ

工事現場は風雨から全体を守るため「素屋根」で覆われていますが、「素屋根」の内部には全体が見渡せる見学通路があります。また、工事現場すぐそばには見学コーナーがあり、窓越しに現場の様子を見たり、木についての学習や大工道具の見学もできます。

また、平成二十五年五月から、玄関と表書院が公開されています。御殿の室内は虎や豹、花鳥風月などを画材とした障壁画や飾金具などで豪華絢爛に飾られており、御殿の建物全てが美術館のようです。

現在、本丸御殿公開記念として「名古屋城春まつり」が五月六日まで開催されており、特別観覧として玄関二之間へ入室できますので、この機会に是非ご覧になつては如何でしょうか。



本丸御殿



本丸御殿の様子

アクセス方法

〔公共交通機関〕

地下鉄名城線

「市役所」下車七番出口より徒歩五分

〔自家用車〕

名古屋高速都心環状線

「丸の内」出口から北へ五分